貫井の風

令和４年度 １０月号
NO. 6

練馬区立貫井中学校　学校だより

真のチームプレー（松尾雄治）

校長　桐野　和之

学級の係活動、学校の生徒会・委員会活動、そして部活動などいろいろなチームで頑張っている人はたくさんいると思います。どのようにすれば係やチームがより良くなるのか。そして強くなれるのか。また、どうもチームがまとまらない。バラバラな感じがする。皆が自分勝手にやっているような気がする。このようなことを経験したことが皆さんにはあるのではないかと思います。そのような時にヒントになる言葉を紹介したいと思います。元ラグビー日本代表の松尾雄治選手の「一人一人が自分の仕事をきちっとこなすこと。この個人プレーの連携が真のチームプレーなのだ」です。

ラグビーというと2015年のイギリスワールドカップ、2019年の東京ワールドカップ、日本代表が世界中の人が予想していなかった南アフリカ戦の勝利。そして記憶に新しい東京ワールドカップで初のベスト８進出。大勢の人に一躍注目を持たれるようになりました。皆さんもテレビを見たり、ニュースなどで関心をもったりして知っている人も多いと思います。ラグビーは、細長いボールを使って、身体の大きな頑丈な選手が手でパスをしながら相手の防御を振り切りながら攻め込み、ゴールを目指して転がり込んでいく競技です。

松尾選手が活躍した頃は、ラグビーに関心がある人はとても少なく、時々ニュースになる程度でした。松尾選手はお父さんがラグビーをやっていたこともあり、小学生の頃からラグビーを始め、中学校、高校、大学と続けました。卒業後は、新日鉄釜石という会社に入社し、１９７９年から選手、キャプテン、監督兼選手として日本選手権７連覇という大記録達成の原動力となった人です。

ラグビーは、１５人の選手がチームプレーで一つのボールを相手の陣地までもっていく競技です。自分のチームのボールをもっている人の動き・判断も重要ですが、ボールを持っていない人がどう判断して動き、相手の選手に邪魔されないように走ってボールを受けるかがとても大事になります。その時に必要なのは、自分のやるべき事がどういうことか、今できる自分の仕事は何かを考えて行動すること。それは、相手の選手が来ないようにする場合もあります。また、受け取ったボールを相手選手が居ない方の味方にパスすること。自分でボールを持って走ること。それを自分のチームの選手と気持ちを一つにし、とにかく大切なのはボールをいかに相手の陣地に上手く持っていくことができるかです。自分のチームが勝つためには、一人一人の選手が、自分ができることをきちんと行うこと。そして、この一人一人のプレーが繋がったときに、本当のチームとしての強さが出ると思います。この気持ちがあったからこそ、７年間も日本選手権を連続して勝ち取ったと思います。皆さんも、学級の係や学校の委員会、部活などで、いろいろな人と協力して仕事をすることがたくさんあると思います。その時に一人一人が自分で考え、今やらなければならない自分の仕事をきちんと行う。それが係やチーム全体が力を身につけ、いい仕事ができたり、チームが強くなったりする秘訣のようです。ぜひ、松尾選手の言葉を思い出してください。

修学旅行を終えて

令和４年度の修学旅行が終わりました。学校では、当たり前のように実施してきた修学旅行が令和元年度以来３年ぶりの実施となりました。

特に前年度は９月下旬の実施予定が、直前での緊急事態宣言の再延長という憂き目に遭い、やむなく実施を断念。今年もコロナ禍の猛威が続く心配な状況、学校と生徒、そして保護者の方々が上手く連携を図りながら感染予防、健康観察を入念に行い準備を進めました。

出発当日、東京駅での出発式。子どもたちの大きな声でのあいさつや返事、ニコニコした表情を見て、「これで行ける」という少しの安堵感と喜びに浸りました。そして、新幹線が東京駅を発車した際には喜びがさらに増しました。

車内で生徒たちの表情をカメラで追いかけると、ニコニコ顔でポーズ。「いい表情」と思いました。ただ、今迄の修学旅行と若干違うのは、生徒同士の座席を向かい合わせにしない、極力対話をしないこと。これもコロナ対策の一つ、と思いながら、やはり少し可哀想な感じがしました。でも、行ける喜びに比べれば「何のその」昨年、一昨年と修学旅行に行けなかった子たちのことを思うと「そんなのどうってことないよ！」と思いました。

９月５日、午前１１時過ぎに新大阪に到着。観光バスで法隆寺に向かう。途中バスガイドさんから、生徒のあいさつや返事の声の大きさに驚かれ、お褒めの言葉。途中通天閣や大阪城、その他の紹介。

法隆寺ではクラス写真後に境内へ。法隆寺の金堂、五重塔を見学。回廊を歩きエンタシスの柱のつくりにも注目。その後宝物館に入り、夢違観音、百済観音、玉虫厨子等を見学。「おーおー！！」という感想を漏らす子が大変多い。

「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」、正岡子規の有名な俳句をガイドさんから紹介され、頷く生徒たちの姿が頼もしい。

続いて東大寺へ。南大門で金剛力士像を拝見、力強さにまたも歓声。そしていよいよ大仏殿に向かう。

大仏の大きさに驚きまた歓声。じっくりと見ながら班行動を進める。東大寺周辺には鹿が多い。その鹿と戯れる生徒たちの姿が大変可愛らしかった。頭や背中を撫でるようすに「ほっこり」。その後は班で奈良公園内を散策。全ての班が午後５時半までに予定どおりに宿へ到着。思わず「素晴らしい」と思った。

夕食は男女別、衝立付きの配膳、そして黙食。ご飯のお替わりは黙って手を挙げ、仲居さんに申し出る。食事の際にお互いが楽しく会話ができない。これもコロナ対策かと残念な気持ちになるが、これも「致し方なし」。

６日は朝から班行動。奈良を経て京都へ。班でしっかり行動を進めていきました。この日は途中各班の体験学習も組まれ、どの班も緊張した面持ちでの行動。学校の本部携帯にも質問や問い合わせがあり、珍道中も。でもそれが良い体験。迷いながらも班で相談し、協力して行動する。最終の班が宿に到着したのは午後６時半頃でしたが、皆無事に到着。よく考え、しっかり行動できていたと思う。遅くなった班は多分焦ったと思いますが。

７日は班でタクシー行動。運転手さんと上手にコミュニケーションを取りながら各見学地を回っていたよう。

ベテランの運転手の方が多く、子どもたちの計画や意向を素早く聴き、効率よく見学できるコースを考えてくれ、流石でした。

全ての班が午後１時１５分頃までには京都駅に到着、そして解散式。多くの生徒たちに満足な表情とともに、少し疲れたようすも。当たり前か。

全ての班が午後６時過ぎに中村橋駅に到着後、家路につく。率直な感想として「修学旅行に行けて本当に良かった」この一言に尽きます。臨海学校、スキー移動教室とこれまで全ての宿泊行事を経験できなかった今の３年生たちがやっと宿泊行事を体験できた。それが何より嬉しかったです。さらに、３年生にとっては初めての宿泊行事でしたが、本当によく考えてしっかり行動できていたと思う。

いろいろとご協力、ご理解を頂いた保護者の皆さまに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

修学旅行のうれしいエピソード

修学旅行中、生徒たちが何気なく行った行為に旅館の方々から心温まるお礼状を頂きました。２日目、京都の旅館での出来事。何人かの生徒が以下のようなお礼を割り箸入れに書き、従業員の方たちに送った行為へのお礼状を紹介いたします。

＜生徒たちから＞

「今回はありがとうございました。とてもおいしかったです。すき焼きがとてもおいしく、ぜいたくな食事をすることができました。ありがとうございました。」

「お肉おいしかったです！」

「おいしいごはんをありがとうございます。とてもおいしかったです。こちらの班ではすき焼きが初めてという友達もいて、楽しくお食事をしていました。なかにはお肉をたくさん食べ、幸せそうにしている友達もいました。またいつかお世話になると思います。その時にはまたおいしいご飯を楽しみにしています！」

「とてもおいしかったです。ありがとうございました。久し振りにすき焼きを食べたのでうれしかったです。明日の朝食楽しみにしています。」

「すき焼きおいしかったです。ごはんのおかわりにこまかく来ていただきありがとうございました。また機会があれば家族で訪れたいと思います。」

「夜ごはんおいしかったです！すごくていねいなやり方でおかわりなどをしてくれておかげさまでとても楽しくごはんを食べられました！これからも頑張ってください！　貫井中」

＜修学旅行京都旅館の方より＞

拝啓

初秋の候、貴校様の教育旅行でお引き立てに預かりまして、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

先生方の素晴らしいご指導のもと、とても快活で礼儀正しい生徒様方でございました。

また、生徒様方より、箸紙の裏に、とても心温まる嬉しいメッセージを頂き、スタッフ一同仕事の励みになると申しておりました。（コピーですが、同送させて頂きました）ありがとうございました。

当方、何のおもてなしも出来ませず、不行き届きばかりでございました。今後とも、何卒ご指導を賜りながら、是非又、お引き立てに預かります様、よろしくお願い申し上げます。

２年生職場体験学習

２年生の職場体験学習が９／１５～１６の２日間にわたって実施されました。実施にあたっては地域の商店街の大きな支援、協力を頂きおかげさまで実施することができました。

職場体験学習の体験先をいくつか訪問すると、緊張した面持ちで各事業所、商店、飲食店、コンビニなどで真剣に働く姿を垣間見ることができました。

僅かな期間ですが、働くことの意義や喜び、楽しさを体感しながら自らの将来を考える貴重な体験機会となりました。ご協力やご支援を頂いた商店会の会長さんや理事長さん、関係者の皆さまには本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

１年生鎌倉校外学習

１年生の鎌倉校外学習が９／１６に実施されました。素晴らしい天候の下、中村橋駅の班行動チェックを受け、いざ鎌倉に向けて各班一斉に出発していきました。ところが、池袋駅でＪＲ線に乗り換える際に電車トラブルの放送が駅構内で入り、乗車予定だった新宿湘南ラインが線路内に人が立ち入るトラブルでストップしてしまいました。そのため、池袋駅構内で足止めとなり、電車の再開運行を待つ羽目となってしまいました。

しかし、ここで生徒たちが偉かったのは、先生方の指示をきちんと聞き、慌てることなく遅れた電車に落ち着いて乗車し、仕切り直しができたことです。

鎌倉駅到着後は、再度班の行動計画を少しだけ練り直し、鎌倉市内をしっかりと行動することができました。愚痴を溢すわけでもなく、不安をあまり表に出さずに行動している姿は大変頼もしい感じがしました。この経験をこれからの学校生活にぜひ活かしてください。

地域との交流

本校の吹奏楽部が、９／１７の貫井町会敬老祝賀会で演奏を披露しました。コロナ禍の中で、過去２年間中止となっていた地域のイベントが久しぶりに開催され、本校の生徒たちが会の冒頭に、地域のお年寄りの方々をお相手に「なぞかけ」をし、練習してきた曲「上を向いて歩こう」「日本の詩情（メドレー）」を披露しました。